

インフルエンザ予防接種を希望する方へ

インフルエンザ予防接種は、主に個人の予防を目的に行われるものです。自らの意思と責任で接種を希望する場合に接種して下さい。

◇ インフルエンザとは

インフルエンザウイルスの感染を受けてから1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱、頭痛、全身倦怠感などが突然あらわれ、咳、鼻汁などの上気道炎症状が続き「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。

◇ 予防接種の効果

感染を完全に阻止する効果はありません。インフルエンザの発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに関しては一定の効果があるとされています。高齢者では34～55%の発病を阻止し、82%の死亡を阻止する効果があったと報告されています。

◇ 副反応

予防接種部位…赤みを帯びる、腫れる、痛み 等 （通常は2～3日中に消失）
全身…発熱、悪寒、頭痛、だるさ 等
非常にまれに、ショック、じんましん、呼吸困難 等

◇ 予防接種を受けることが適当ではない人

- ① 接種当日、明らかに発熱のある人（一般的に37.5℃以上）。
- ② 重篤な急性疾患にかかっている人。
- ③ 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある人。
- ④ 予防接種で接種後2日以内に発熱が見られた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人。
- ⑤ その他、医師が不適切な状態と判断した場合。

◇ 予防接種後の注意事項

- ① 接種直後の30分間は急激な健康状態の変化がないか注意しましょう。
- ② 接種後24時間の体調に注意しましょう。
- ③ 接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けるようにしましょう。
- ④ 接種局所の異常反応や体調変化がある場合は速やかに医師の診察を受けましょう。

◇ 感染症の予防について

人混みを避け、外出時はマスクを着用し、帰宅時や食事の前などこまめに石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。